

小4

◆低い土地のくらし◆

上巻17回

氏名

得点

各10点
120点

1

濃尾平野は美濃国（今の①県）から尾張国（今の②県）に広がる。①②に当てはまる県名を記号で答えなさい。
ア、鹿児島 イ、岐阜 ウ、愛媛 エ、愛知

①

②

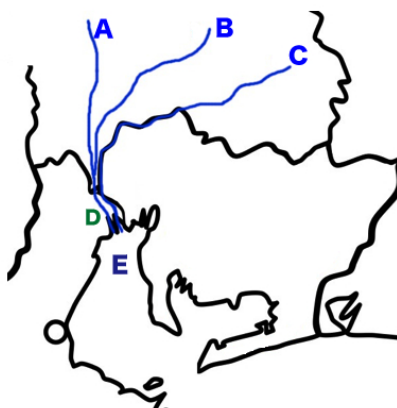
2

A、B、Cの川を選んで答えなさい。
(長良川、木曾川、揖斐川)

A () 川

B () 川

C () 川



3

今から約260年前、木曾三川の流れを分ける工事を行った藩は、今の鹿児島県にあたります。その藩は何藩ですか。

4

まわりを堤防^{ていぼう}で囲まれた低い土地を () という。

5

問4の地域で、水害をさけるため一段高いところにつくられた建物は () である。

6

問4の地域で、かつて移動や農業に欠かせなかったものは () である。

7

水はけの悪い土地の地下に、小さな穴のあいた管をうめて、土の中の余分な水を排水する仕組みは () である。

8

海津市では、() で囲んだ土台の上に建てられた家が多く見られる。

9	梅雨の終わりごろなどに、せまい地域で短い時間に大量に降る雨は（ ）である。	
10	川が運んできた土砂が河口の近くに積もってきた、低く平らな土地を（ ）という。	
11	昔の水害のようすなどを今に伝える石碑のことを（ ）という。 地図記号をヒントに→ 	
12	洪水や津波、火山の噴火などによる被害を予測した地図を（ ）という。	

小4

◆低い土地のくらし◆

上巻17回

氏名

満点とれ太

得点

各10点
120点

1

濃尾平野は美濃国（今の①県）から尾張国（今の②県）に広がる。①②に当てはまる県名を記号で答えなさい。
ア、鹿児島 イ、岐阜 ウ、愛媛 エ、愛知

①イ

②エ

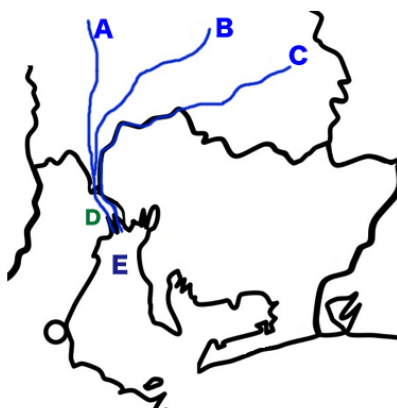
2

A、B、Cの川を選んで答えなさい。
(長良川、木曽川、揖斐川)

A（揖斐）川

B（長良）川

C（木曽）川



3

今から約260年前、木曽三川の流れを分ける工事を行った藩は、今の鹿児島県にあたります。その藩は何藩ですか。

さつまはん
薩摩藩

4

まわりを堤防で囲まれた低い土地を（ ）という。

わじゅう
輪中

5

問4の地域で、水害をさけるため一段高いところにつくられた建物は（ ）である。

水屋

6

問4の地域で、かつて移動や農業に欠かせなかったものは（ ）である。

田舟

7

水はけの悪い土地の地下に、小さな穴のあいた管をうめて、土の中の余分な水を排水する仕組みは（ ）である。

暗きょ排水

8

海津市では、（ ）で囲んだ土台の上に建てられた家が多く見られる。

石垣

9	梅雨の終わりごろなどに、せまい地域で短い時間に大量に降る雨は（ ）である。	しゅうちゅうごうう 集中 豪雨
10	川が運んできた土砂が河口の近くに積もってきた、低く平らな土地を（ ）という。	さんかくす 三角州
11	昔の水害のようすなどを今に伝える石碑のことを（ ）という。	しぜんさいがいでんしょう ひ 自然災害 伝承碑
	地図記号をヒントに→ 	
12	洪水や津波、火山の噴火などによる被害を予測した地図を（ ）という。	ハザードマップ